

年月日

19  
08  
30ペー  
ジ

31

NO.

令和の時代を迎え、皇室行事のニュースや記事を多く目にする。皇居の富殿では数々の国事が行われるが、その内装には日本の美術や伝統工芸の粧が集められている。日本伝統工芸の綾織の技術によつて作られた壁紙もその一つだ。

正倉院裂の中にも綾織が見られるが、本格的に国内で生産されるようになつたのは江戸時代中期からである。爪や櫛を使って織つた本綾は着物愛好家の憧れの逸品だ。この技術を用いて、京都都の川島織物セルコンが西欧のタペストリーに匹敵する大作を目指して研究を重ね、劇場や建築の内装、舞台と観客席を仕切る垂れ幕である綾帳に發展させた。これらは芸術性の高い

## 「デザインのチカラ」

(5)



ベッセル福山ニューキャッスルホテル大宴会場の中央を飾る綾帳

特注仕立てで、幅10数㍍の綾帳制作には織作業だけでも1~3カ月間かかる。綾帳はホテルの中でも目立つことができる。広島県福山市にあるベッセル福山ニューキャッスルホテルでは昨年10月の大宴会場のリニューアル時に綾帳を新調した。35年前の新築の時に制

作したものは、数々の結婚式やパーティーの場で人びとの目に触れ、地元の大勢の方の記憶に残っているホテルの象徴でもあつた。綾帳は工芸品であるから手入れの仕方次第で長く楽しむことができる。ホテルの歴史を見守ってきた綾帳を別の形に変え、デザインの力でよみがえらす」とはでき

## 綾帳額に入れアートに

り、生きていく。デザインにはそんな力がある。

### 【プロフィール】

西谷直子（にしたになおこ）三井デザインテック・コンサルティング・ジャパン株式会社

ショーン・エディタード（ショーン・エディタード）は、日本文化の研究や海外での経験を生かし、同社独自の概念「クロスオーバーデザイン」を広く発信するほか、メディアとコラボした「未来のデザインシリーズ」を仕掛ける。